ビコウオウジョ
媚香王女2
淫臭ダダ漏れプリンセス
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

媚香王女2
ビコウオウジョ
Presented by Garyuh-Chitai
2022 summer
淫臭ダダ漏れプリンセス

媚香王女2（ビコウオウジョ）

淫臭ダダ漏れプリンセス

P04　前回のあらすじ・登場人物紹介

P06　媚香王女2

【前回までのあらすじ】

ファナンデル王国の第二王女リコは、森で露出オナニーしているところを悪の魔導士に拉致され、魔術によって常に淫臭を放つ変態フタナリ肉便器に変えられてしまう。

騎士団により救出されたものの、魔導士の肉体改造術を学んだリコは城に帰還したあと周囲の美女たちを次々と淫臭で発情させ、さまざまなチンポ改造を施して快楽メス奴隷に堕としてしまう。

チンポ快楽に堕ちた者はさらに別の者を堕とし、いつしかチンポ女になることを自ら望む者が激増。いまや王国のいたるところで中出し交尾が繰り広げられ、人々の全身から絶えず濃厚な淫臭が溢れ出していた――が、政治も経済も外交もまったく問題無く、むしろ国民の生活はすごく充実していたためリコたちは毎日濃厚なチンポセックスを楽しんでいるのだった。

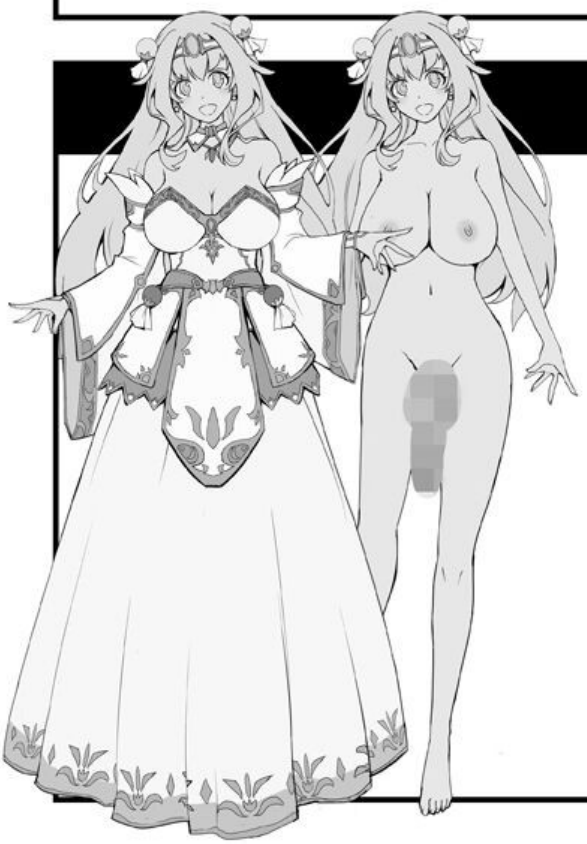
第一王女　ロゼ・ファナンデル

今作の主人公。リコ姫の義姉で次期王妃となる予定。文学を愛する大人しく真面目な性格。他者には優しく自分には非常に厳しい。

義理の妹であるリコのことを溺愛しており、彼女が拉致されて変態チンポ女になる以前から、ずっと妹姫の妄想スケベ話の聞き役をつとめていた。

その影響で性の知識は豊富で市井のエロ小説に精通しているだけでなく、リコのためにひっそりと自らも変態エロ小説を執筆している。

真面目過ぎて思いつめる性格を心配したリコから「もっとだらしなく生きてほしい」と巨大でだらしなく垂れ下がったキンタマを与えられ、現在ではほぼ毎日愛しい妹姫の肉穴にオス臭い精液を排泄してイキ狂っている。



第二王女　リコ・ファナンデル

もともと人一倍変態性癖をもっていたが、悪の魔導士に拉致され淫臭に発情しながら処女喪失。魔物に輪姦調教、そしてフタナリ爆乳改造され、魔族チンポとの結婚を懇願するまで快楽堕ちした。

魔術使いの才能もあるため、討伐された魔導士の秘術を使って親しい騎士団長、侍女、聖職者、呪術師たちを淫臭で篭絡。自らのチンポで肉便器調教し、それぞれの性癖にあわせたチンポ改造術や召喚した触手による中出し調教等により、彼女たちがひそかに抱いていた変態マゾブタ性欲を解放した。

また、幼少期より慕っている義理の姉・第一王女ロゼの悩む姿に心を痛め、彼女を淫臭キンタマ痴女へと改造。義姉がひそかに抱いていた凌辱願望を満たし、姉妹を超えた信頼関係を築いている。

【リコに堕とされた者たち】 ※前作「媚香王女」より

騎士団長　アレッサ・グレイヴ

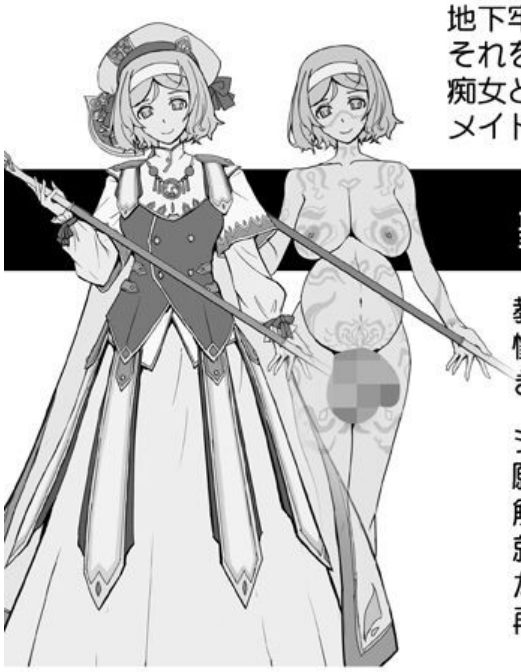
リコの幼馴染で彼女の警護担当。拉致されたリコを救出した際に淫臭に侵され変態痴女剣士となった。
もともとリコを愛していたことに加え、強い凌辱願望持ちだったため、自らリコの肉便器奴隷として奉仕することを誓う。

超長サイズのチンポ騎士に改造された後、騎士団の仲間とともに淫臭中出しセックスに明け暮れているが、女海賊をマゾブタ堕ちさせて仲間にするなど、治安維持の仕事でも素晴らしい成果をあげている。

侍女　ダリア・ヘルガード

元・格闘家で傭兵。王国からの依頼で巨大オークの棲むダンジョンに潜入。慢心から敗北し、オークの肉便器として調教される。
その一方でオークは彼女のケガを癒し、回復すると正々堂々と再戦しダリアを叩きのめす。それを繰り返すうちに彼女はオークの強さに心酔し、奴隷妻宣言して彼を『夫』と呼ぶようになった。

その後、夫が捕獲されると、侍女に転身。地下牢でひそかに逢瀬を繰り返す。
それを知ったリコの秘術によって巨大包茎痴女となり、夫の遺志どおり、今はチンカスメイド長としてリコに仕えている。



聖女　シーラ・コロン

教会につとめる魔術師。治療や災害抑制のほか民衆の相談や懺悔を聞く窓口にもなっている。しかし民衆の支えとなるべき教会の内部が金と性欲で腐敗している現状に心を痛めていた。

シーラ自身も貞操帯の反動で常時セックス願望に苛まれていたが、リコにより禁欲を解かれた彼女は全身を淫紋で彩り教会長に就任。教会を身分や種族などの格差を排した民衆全員のためのチンポ娼館として再建し、悩める者を救済している。

賢者　ネメス・ジエル

中立地帯の森にすむ100歳越えの呪術使い。医術・占い・解呪のほか、国家間の交渉の仲介も引き受ける信頼の厚い賢者。

かつてエルフの里で恋をした人間によって変態露出セックス調教をうけチンポ快楽堕ちした過去がある。
リコからフタナリ化の秘術について相談を受ける際に淫臭により痴女堕ち。長年封じていた変態性癖をたっぷり解放させるために特大ペニスとキンタマを与えられた。
その後、衰退していた故郷に戻り、肉便器エルフの村として改革し繁栄させている。

聞いてください
お義姉さま～っ！
む
っ!!
先生（ダリア）がひどいんですよ――っ！

……？
どうしたの？
ずいぶん怒ってるように見えるけど

ふふ　さてはおチンポを入れてもらえなかったのかしら？
今日こそは、って楽しみにしてたものね♪
すごいぼっき♥
むきーーっ!!
そーなんですよ！もう3日もお預けなんて信じられません！
ビビビ

じゃあ今回も記録するからもう少し詳しく聞かせてくれる？
チンカスチンポセックスをしてもらえなかった理由に納得してないのね？
いいえ！理由には納得してます！
ぷんぷん
たしかに先っぽを縛って3日以上溜め込んだ濃厚チンカスチンポでマンコぐちゃぐちゃに犯してもらいたかったですけど
むわ〜
むわ〜
たぽ
たぽ
新人メイドさんの歓迎式でとっておきの淫臭チンポを舐めさせてあげたらしくて
にちゃっ
は〜い♥
チンカス♥
チンポっ♥
今後、誠心誠意仕事に励み困ったことがあれば何でも相談しなさいそして昇級すれば褒美としてこのエロチンカスを好きなだけ舐めさせてあげよう
は…はいっ　ダリア様♥お姫様のためチンポのため…あぁ…♥死ぬ気で頑張りますっ！
では　包皮に誓いの口づけを――
はっ♥
はっ♥
でも――いくら激励のためとはいえあんな…あんな…

(ビロビロチンポ包皮を顔にかぶせて淫臭チンカス舐め放題)
あんな羨ましいこと
してあげるなんて！
ビッワウッッ!!
んほおオッ♥♥
んぼオッ♥
オボォッ♥
ゲボおッ♥

うむ 新人メスブタ
らしい良い返事だ
姫様のチンポに尽くす
際も その心意気を
忘れないように
んぼっ♥ おえっ！
ごぶぅぇえっ♥
わ…わがり
まぢだぁあっ♥
ほら 熟成チンカス
精液 全部顔面で受け
止めなさい
うぶぇっ！ おえっ♥
あ ありがどう
ぐおぢゃいましゅううっ♥
オェッ♥
ゲボおッ♥
ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！
ビクッ！

あんなの私にも
してくれたこと
ないのにぃ～っ！
ずる～!!
うぇ～ん
……

ちょうど新作のエロ
ブタ調教小説を考えて
いたところだから
そのシーンも取り入れ
させてもらうわね
――驚いたわ
そんな愛情の
形があるなんて
さすが『先生』と
呼ばれる
ダリアさん

でも そのために
来てくれたわけでは
ないでしょう？
どうして今日は
私のところへ？
実は先生に
文句言ったら
『ロゼさまのマンコと
クソ穴に数日分の触手
精液が溜まっております』
私のチンカスなんかより
何倍もエロ臭いどスケベ
チンポ汁のほうを是非
ご賞味ください』
――って
言われちゃって…
お義姉さま
本当なんですか？
ぶっ
ぶっ
むわ
むわ

そうだったの
――
ダリアさんは
何でもお見通しね
そうよ 彼女の
言う通り――
ぶりゅ♡
ぶりゅ♡
ぶりゅ♡
グギュ…ッ
グギュッ

ん…ふぅ…うっ
ぐ…っ
あ♥
んぁ♥
ビクッ!
ビクッ!
ビクッ!

見て…あなたのくれた
垂れ下がった淫臭
チンポ袋…♥
公務中も小説執筆中も
絶え間なくマンコと
ケツ穴に中出しされて
我慢できず少しずつ
漏らすたびに
排泄快感にキンタマが
疼いて 何度も
射精していたのよ
は♥
ぐるる…♥
ぐるるぅ♥
ビクッ
ビクッ
もわ
もわ
とろ…
とろ…
ぶッ♥
ぶッ♥
びぶッ♥

実はもう限界寸前
だったの♥
世界で一番愛してる
義妹の顔面に
私の中にあるくっさい
精液を全部ぶっかけ
たくて――ね♥
は――♥
は――♥
は――♥
トクン
トクン

はぁ…はああ♥
リコの精液便所キスで
イク…イクぅっ！
あぁあ…受け止めて…
飲んで…飲んでぇっ♥
はっ♥
あん♥
ズギュ！
ズギュッ！
んごっ♥
ズギュ！
おぶッ♥
ぐぼッ♥
あむっ♥
んぶ…っ！
ぢゅぶ♥
ぢゅぶ♥
ぢゅる るっ♥
おねえ…さまっ♥
んぢゅるぅっ♥
ビク♥
ビク♥
ビクン♥
ビュッ♥
ビュッ♥
おほぉっ！
マンコから…逆流
射精するううっ♥
出るっ
んぶううううっ♥♥♥
ぐりゅぶ
オボォ♥
ゴボォッ♥
ぞくっ♥
ぞくっ♥
ビュクッ♥
んほっ♥
イグ…おげえぇっ♥♥
おぶっ
ビュー♥
ビュー♥
ビュルルッ♥
あっ
リコっ！
ダメよ
チンポせーえき…
キンタマ汁
もったいないっ♥

んぶぅうっ♥
ちゅぽっ♥
ちゅぽッ♥
んぐっ！
んふうっ♥
んぐっ！
ぐぶっ♥
ちゅぽっ♥
ぢゅるっ♥
んぢゅるっ♥
んぶぅうううっ！
ちゅぽっ♥
ちゅぽッ♥
ぢゅるっ♥
ぢゅるっ♥
ぢゅぽっ♥
ぢゅるっ♥
んごっ♥ おげっ♥
リコ…ぉおほぉ♥♥
ぶりゅッ♥
ぶびっ♥
イク…イクぅうっ♥
触手せーえきひり出しながら
妹の顔面マンコに射精するぅうっ♥
おっ！ うぶぅえっ！
おごぇえええっ！
んごぉ♥
オぼッ♥
ガクガク
んぉおっ！ おっ！
んぢゅるぅっ！
んぶ♥
んぁ♥
ちゅぽッ♥
ちゅぽッ♥
ぶぢゃっ♥
ぶぢゃるっ♥
どスケベキンタマ
せーえき全部
出るぅうっ♥♥♥

んぐっ♥
イッくうう
うううううっ
♥
♥
♥
ヒュクッ!
ヒュクッ!
んぐっ♥
ゴクッ♥ゴクッ♥
んッラッ♥ぶぅっ♥
ゴブッ♥
ごぶっ♥ おごっ♥
ごぶうえっ♥
んごっ♥
んぐっ♥
ぐぶっ♥
グビュッ!
出てるうっ♥♥
出てるぅっ♥♥
二人で一緒に
キンタマ孕ませ汁
排泄ううっ♥♥♥
ゴクッ♥
ゴクッ♥
んぶっ♥
ぐぶっ♥
私も…わたヒも…
リコのキンタマ
チンポせーえき…
んぐっ♥ぐぶっ!
ぐぶうっ♥
オボッ♥
オボッ♥
んぶっ♥
んっ♥
おげっ♥♥おっ!
ドロドロの臭くて
美味しいどスケベ
精子…
全部飲むううっ♥
そるるるッ♥
ボッ♥
ボッ♥
んぶううううっ♥

はぁ…はぁ…♥
あぁぁあ…♥
美味しい…♥
リコのチンポの味
身体中で感じちゃう…♥
は――っ♥
は――っ♥
貴女に射精されると
王女でも姉でもない
ただのメスブタ肉便器に
なれるの…♥♥♥
は――っ♥
メチャ♥
メチャ…♥
メチャ…♥
ほら 幸せ過ぎて
射精が止まらないわ♥
ニチャ
ブリュッ!
ブリュッ!
ニチャ
リコも
全身で味わって♥
貴女が与えてくれた
このだらしない
チンポ袋のニオイ♥
は♥
は♥
あぁあ…臭くて
素敵…義姉さまの
キンタマ精液い…♥
メチャッ
ダリアのチンカスより
くっさぁあい…♥♥♥
はぁ♥
ニチャ
ニチャ

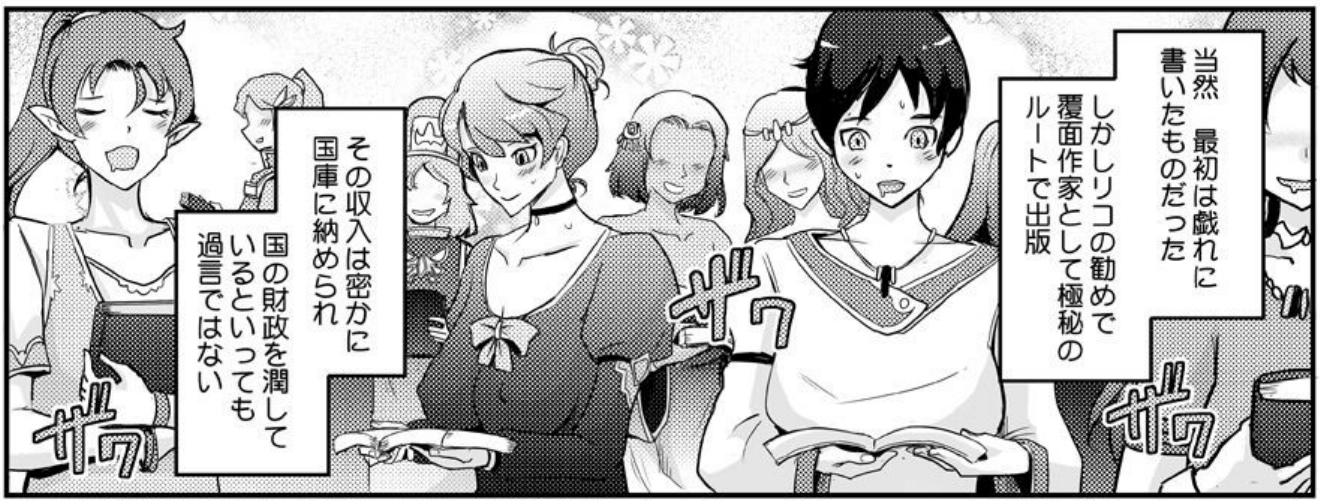
本当に可愛い子
そんな笑顔見たらいくらでも射精できるし
悦んで貴女のチンポ肉便器になってあげたくなっちゃう
クスッ♥
こんなにも近くに愛しい人がいるなんて私は世界一の幸せ者ね♥
次は貴女がマンコ穴に中出ししてくれる？
それともこのチンポ袋の精液を貴女の子宮にぶちまける？
はっ♥
んっ♥
あっ♥
ビュルッ♥
ビュルッ♥
ビュルッ♥
むわ…
むわ…
むわ…
どちらでもいいわ
私はあなたのチンポに救われた時から
オスとメス両方の性欲のためにこの身を捧げると決めたのだもの♥
そして　その愛情と劣情を全部書き綴って
世界中の人々に読んでもらうの♥
いつか私の気持ちが『あの人』にも届くように――

情事を小説にしたため出版することは――

それはただの娯楽ではなく　私のなすべき「務め」

拉致されたリコが帰還してからの淫靡な日常を綴った物語は

いまやわが国だけでなく近隣諸国においても爆発的に売れている



リコがさらわれチンポ姫になる約一年前のこと
ある夜 一人で城内の庭を歩いていた母は
庭師として雇っていたオークに強姦された
あッ♥おぉ♥
いやあぁっ！や…やめてっ！ダメ…やめなさ…あぁあぁっ！
あぁ♥
らめぇえええええっ！
グモッ！
グモッ！
母が私を生んで以降王は第二王妃であったリコの母や妾に夢中で
女として見てもらえずチンポに飢えていた母はその快楽に一瞬で堕ちた
ぢゅぼっ♥
ぢゅぼっ♥
おほっ♥
あぁお…お…♥チンポぉ…おげぇ…んぼぉ…♥
んほっ♥
オホォ♥
おいヒぃ…♥あぁ臭いチンポおおお…んぢゅる…っ♥
イグっ♥
イクッ♥イクッ♥
どくっどくっ
あぁあ…どう…？毎日毎日犯されてマンコもケツ穴もすっかりあなたのでかチンポの味覚えちゃったのっ♥
庭のど真ん中で変態露出マンコ犯されるの好きぃっ♥朝までずっとこの奴隷便所穴で性欲処理してぇえっ♥♥♥
ブリッ♥
ブリッ♥
ドプッ！
ビュクッ！
ドプッ！

その後　母は
オークとともに失踪

残された手紙には
王妃としての
わずかな謝罪の言葉と

オークのチンポによる
メス堕ちがいかに幸福
なのかが延々と綴られ
ていた

不祥事はすぐに隠蔽
されたため政治的に
混乱はなく

国民の間で噂になる
事もなかったのは
不幸中の幸いだった

捨てられた私には
責任がないとはいえ
肩身が狭かった
周囲の人々も事情が
特殊ゆえに同情の言葉
すら見つからない
腫れ物に触るような
空気に満ちた鬱屈
とした日々
だけどそんな闇を
払ってくれたのが
――
おねーさまー！
ぽあぁぁぁ
また素敵な本を
見つけたの！
あとでお部屋に行っても
いいですかっ♥
リコだけは変わらず
私を慕ってくれた
彼女は森の中で拾った
ど変態エロ小説を譲って
くれたり
チンポへの憧れを
無邪気に語った
母を奪ったチンポという
モノへの憎悪を抱きそうに
なっていた私を
愛らしい妹の語る
チンポ愛が救ってくれた

それがきっかけで
私はリコの憧れを
文章にしたため彼女に
プレゼントした
当時はまだ二人とも
処女で　チンポなど
見たこともない
にわか知識の妄想
小説に過ぎない
稚拙なものだったが
それを読んだ妹は
心から喜んで
毎日のように
オナニー報告を
してくれた
いつしか私は妄想
変態小説の執筆に
夢中になっていた
資料を集め
市井の官能小説を
読み漁り
知識が増えれば
増えるほど好奇心は
増していった
母や義妹をここまで
虜にするオスの
シンボルとは——
そこにはもはや
憎悪など
欠片もなかった
むわ
ビクン
ビクン
むわ
むわ
当然
なく
彼女だけでは
私自身も毎日
自慰に溺れ
ついには母のように
強姦メス堕ち願望すら
抱くようになっていた
あっ♥
んあ♥
ガクガク
あぁあ…ダメぇ…♥
肉便器に堕とさないで…
処女マンコもウンコの
穴も精液便所に
されちゃう…っ♥
いや…あぁぁあ…♥
ダメぇ…っ！
私は…お母様とは違うのっ♥
あんな淫乱メスマンコじゃ
ないのぉっ♥
おほ♥
ガクガク
あぁあ…チンポ…
チンポなんて…す…
好きになんか……
んぁあ…うソです
おチンポ好き…っ♥
犯して犯して犯してぇ
ええっ♥♥♥
ぐぢゃ♥
ぐぢゃ♥
ぐぢゃ♥

そんな日々の中
突然起きた
『あの』事件
救出され帰還した
リコの股間には憧れの
チンポが――
ただいま帰りました
お義姉さま♥
卑猥で猛々しく
香しく美しい
肉欲の象徴
ああ――これだ
これこそが妄想の中で
私を犯していた理想の
チンポそのもの
むわ
むわ

ドン
ドン
はい
あぁあ…リコ…
私も…
私もチンポ欲しい♥
淫臭チンポ痴女に
なりたい…♥
はい
お願い…します…♥
はい
ぢゅ…♥
んぶっ♥
ぢゅるるっ♥

リコはチンポ女になっても優しく
そして誰よりも私を理解していた
あぁ…♥
チンポ♥チンポ♥
生真面目すぎて自分を追い詰めることがある私に
もう少し楽に生きていい——
そんな想いをのせて
誰よりもだらしなく垂れさがったチンポ袋をくれたのだった
はぁ…なんてスケベで可愛いのかしら…♥
ありがとうリコ…♥
ドキッ
ビクン♥
たぷん
んふ…っ♥おねーさまの精子袋 どんどん臭くなってますよ♪
ニオイだけで孕んじゃいそうです♥
城内にエロキンタマのニオイ一緒にばらまきましょう？
ビクッ!
ぢゅぼっ♥
ぢゅるるっ♥
おくっ♥
んあぁあっ♥くひっ！ んひっ♥きもぢイイいいっ♥
あぁあっ♥臭いチンポのニオイいいい…みんなに嗅いでもらうのっ♥
リコと一緒にチンポ丸出しで歩き回りたいいいっ♥♥♥
ガクガク

イクっ♥イクううっ♥
チンポ射精いいっ！
リコの顔ズリ…
キンタマにキくっ♥
はぁ♥
はぁ♥
ズリュッ♥
ズッ♥
にちゃ♥
にちゃ♥
ドプッ♥
んほおっ！ 女なのに
オスイキするぅ♥
あぉおっ！
これ好きっ♥
ブリブリ射精するの
大好きいいっ♥♥♥
まだこれからですよ
お義姉さま♥
最高の処女喪失を
体験させて
差し上げますね♪
んあっ！？
ひ…あぁあっ！
ち…チンポ…♥
チンポくる…
ハメられるぅっ♥
んおっ♥
おゲッ♥
ゴフッ♥
ゴボッ♥
ガク
ガク
んぼぉ♥
ぐちゃっ！
ぐちゃ
ぐちゃ
んごぉおおっ♥♥
ゴボッ！
ゴボッ！
ドボッ！
ドプッ
マンコもケツ穴も
口の中もチンポも
全部同時に処女ハメで
イカせて差し上げ
ますね♪
ビクッ♥
ビクッ♥
おぎゅっ♥ ごぶぇっ♥
んっほおおおっ♥♥♥

これ…これが…
これが生ハメ
チンポぉお…っ♥
こ　こんな気持ち
いいの…逆らえないっ♥
無理むりムリぃっ！
絶対メス堕ちする
ううっ♥♥♥
ブビュッ♥
ブビュッ♥
ブビュッ♥
ビクビクッ♪
ビクンッ♥
ビクンッ♥
出しますよ
おねーさまっ！
子宮の中まで
キンタマ臭くして
あげますっ！
ドブッ！
ドブッ！
ドブッ！
ぶるんっ♥
ぶるんっ♥
んっヒいいいっ♥
熱いいっ！マンコ
熱いいいっ♥
い…イグ…っ♥
イっぐううっ♥
オッ♥
んおッ♥
オホおっ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ビクッ♥
ゴヂュッ♥
ゴヂュッ♥

はーっ♥
はーっ♥
うふ♥ お姉さま
チンポの魅力は
ハメられるだけじゃ
ありませんよ？
はーっ♥
はぁ♥
はぁ♥
まんこ♥
まんこっ♥
はぁ…はぁ…♥
あぁ…リコ…
リコのエロ
マンコぉ…っ♥
まんこ♥
そうです 今は
お姉さまだけの
チンポ便器穴
そのだらしない
デカキンタマの中で
溜ってる精液を
お好きなだけ
排泄してください♥
ぐぽぁ♥
トロ…
トロ…
あぁあ…入って…
入ってる…私の
不潔なチンポ…♥
チンカスまみれの
チンポが…愛する
義妹のマンコに…♥
ぐちゃ！
ぐちゃ！
ぐちゃ！
ズッブ
にちゃ
ウウッ
ぐぐぐ…っ
お…犯してるっ♥
私…リコの
マンコ犯してるっ♥
おあっ あぁあっ♥
これ…気持ちいい
いいっ！
あ…あぁ…♥
んあああ…っ♥
んっひいいいっ！

ああっ♥
これがオスの性欲っ！
ぞくぞくぞく
お母様を犯して
メス便器にした
オークの性欲うっ！
ら…らめえっ♥
メスマンコ犯すの
気持ちよすぎるぅっ♥
あっ♥
あはっ♥
あはあッ♥
ガクガクガク
どぴゅ！
どぴゅ！
どぴゅ！
もうらめえっ！
キンタマ限界っ！
イクっ！ いくっ！
子宮にせーえき
全部出るぅうっ！
ラひ♥
へひ♥
えひ♥
おほおおっ♥
おうっ！ あおっ♥
イくっ♥ イくぅっ♥
オスになるぅうっ！
イク♥
イクッ♥
イクぅ♥
ベちょん♥
出してっ！
おねーさま…
わたヒのエロ穴
いつでも好きなだけ
使ってえぇっ♥♥♥
ベちょ♥
ベちょっ♥
ベちょ♥
ベちょ♥

く…あっ！
んあぁあっ♥
ドッ
ドウッ!!
ビクッ
ビクッ
あぁあアッ♥
イグッ
イグゥッ
ブシュ!
ブシュ!
ビクッ
おぉ♥
んおおッ♥
ああぁあっ♥愛してるっ♥
リコの穴愛してるぅうっ♥
メス穴孕ませるの
ぎぼぢぃいいっ！
おー♥
おー♥
ビク!
ビク!
ビク!
はっ…あぁぁ…♥
あは…へひぃ…っ♥
ヘヒ♥
ぶるるるっ♥
ヘひ♥
はひ♥
この時からただの
妄想小説ではなく
私たち二人の実体験を
基にした小説を書く
ことが
私が筆をとる理由と
なった――

そして
現在――
みなさま
ごきげんよう♥
いつもお勤め
ご苦労さまです
たぽん♥
たぽん♥
もわ…
もわ…
私はファナンデル
王国第一メス便器
王女であり
人気変態小説家と
して充実した日々を
送っている
ありがとう
ございます
ロゼ様のエロ
キンタマも
お美しいです♥
たぷん♥
たぷん♥
あら　ありがとう
リコにもらった大切な
ものだから
これを褒められると
心から嬉しいわ
貴女たちも気が
向いたら遠慮なく
私を性欲処理用の
便所チンポとして
使ってね♥
クス♥
あの日　強姦チンポに
即堕ちした母の快楽
無防備な母のマンコを
犯したオークの性欲
そのどちらも理解できた
私から『捨てられた娘』
という引け目がなくなった
おかげで
城内の人たちとの間に
あった重苦しい空気も
払しょくされた
さらに心優しいリコが
私の小説執筆の後押しを
するために
紹介してくれた
とっておきの贈り物
それはチンポ快楽に
堕ちた　素晴らしき
仲間たち

アレッサには
捕虜となった時の
敗北奴隷宣言の
仕方を――
た 助けてくだ
さいっ♥
殺さないでっ♥
何でもしますっ♥
奴隷になりますっ♥
娼婦にもなりますっ♥
奴隷？ 娼婦？
甘いですね
敗北した王家は
人を捨てないと
殺されるんです
ひっ
ヒィッ
ムチィィィッ
ドタッ
ビュブッ♥
ドタッ
ビュブッ♥
ダリアには顔面
チンカス包皮への
ロマンコ奉仕を
あぁ…穴に…便所穴に
なります…っ♥
私はマゾチンポ付きの
使い捨て淫具ですっ♥
ロゼ様 その心意気
忘れてはいけませんよ？
ゴルぇっ♥
ごぶぇえええっ♥
お…ごぉ…
げえええエっ♥
ゴプッ
ドプッ
ビクビク
オゴッ
ゲボォ
オゴぇえええッ
ドボッ
はしたないですよ
ロゼさま
今度チンポ包皮の
中にゲロったら
王女様のマゾブタ
キンタマを気絶するまで
蹴らせて頂きますね
ご…ごべんなざ…
げぼぉおおおっ♥
おえっ♥
おぐぇえええっ♥

シーラさまの
淫紋売春聖女隊で
密かに公衆便女に
なったり――
ちんぽっ
ちんぽっ
見てっ♡
見てっ♡
知らないチンポに
ぶっかけられるの
素晴らしい
背徳感でしょう？
し 新人娼婦の
ロゼと申しますっ♥
淫紋ダメチンポ
見て…見てぇっ♥
ビュクッ♡
ドプッ!
ビュクッ!
ドプッ!
ブビュッ!
は…はいっ♥
う 嬉しいいいっ♥
これから常連様に
使っていただけるよう
ご奉仕に励みますぅっ♥
ネメスさまには
人外チンポによる
苗床射精体験を
させていただいた
ビクッ♡
ビクン♡
ビクッ♡
ドプッ♡
ドプッ♡
グチュ!
このまま5日間
ぶっ続けでずっと
マンコ穴になって
いただきます
養分の摂取・消化・
排泄も全部マゾ快楽に
なりますのでご安心を
ぶりゅ!
ぶりゅ!
んぼっ♥ おぐっ♥
んぼおぉおっ♥♥♥
ぼっ♥ ぶっ♥
ごぼぼぼぉおっ♥

そしてとうとう民衆の前に公衆便女として全てをさらけ出した
残念ながらまだ顔を公開することは出来なかったけれど
リコと一緒に無料性欲処理のハメ穴になって脱糞絶頂まで見られてしまった
ああぁあっ♥見て…精液うんこぉっ♥
脱糞しながらチンポ射精ぇえっ♥
こっ こんなきもヒいいの…し…信じられないいっ♥
んほおおっ！わ わたヒ…ま 毎日…ここでみなさんの便器になりますっ♥
せーえき臭いメスウンコひり出しますうっ♥♥♥
イク…♥イクぅうっ♥
私はこれらの経験を余すことなく書き連ね世に送り出した
そうしているうちに次第に湧いてきた想い——
『私の作品は 母のもとに届いているのだろうか』
そして もし届いたとして母はこの主人公を自分の娘だと気付いてくれるのだろうか——と。

探しますか？
え…っ
その葛藤――
私には「会いたい」
と聞こえました
お姉さまが本を書く
理由――
最初は私のため
次はお姉さま
自身のため
そして今は
お母様へ自分の
幸福を届けるため
赤裸々につづった
今の自分の姿を見せたい
という願望を抱くことは
王女であろうとメスブタで
あろうと関係ない自然な
ことだと思います

すべてお見通し
なんと聡明な妹姫だろう――
確かに私は躊躇してきた
その理由は変態官能小説家の正体が私であると
母や世間に知られることではない
私だけこんなに幸福でありながら母が不幸な人生を送っているとしたら
チンポ以外の全てを捨てたあの人はどれほど後悔するだろう
そのことを恐れて……
今までは
そうやって目を背けてきた
でも　今の私の本心は――？
今の私は母がチンポに服従した理由を全身で理解した
だからリコの言う通りちゃんと会って伝えるべき――
小説ではなく生の言葉で
そして堂々とチンポ快楽に堕ちた私の姿を見てもらいたい
ズ…ッ
トロ…
トロ…

むわ〜ア
ありがとうリコ
私 決めたわ
むわ〜
お母様に伝えないと
いけない気がする
私はあなたを
憎んでいない
自分を嫌っても
いない…って
は♥
ふるん♥
ふるん♥
ふるん♥
今こそ私は
この姿でお母様に
会いに行く——
そして皆に愛され
皆を愛し
次期王妃の座を
立派に継いでみせます
——と。
は♥
は♥
その後 ネメス様や
シーラ様の協力を得て
母の捜索が行われると
驚くほど多くの
目撃情報が集まり
すぐに彼女と夫の
オークは発見された

母は国じゅうを巡る旅娼婦の一座を率いていた
団員は夫であるオークが強姦チンポでメス堕ちさせた女たち
そして国境沿いの村で私たちはようやく彼女たちと対面できたのだった
一座の中でも母の生ハメショーの人気はすさまじく
私は声をかけることも出来ず その美しい姿に心奪われていた
ザワ
ザワ
ザワ
オオオオ
ビクビクビク
おぉおっ♥ んあぁあっ♥ あぁっ！
お客様ぁあっ！ケツ穴生ハメ見て…っもっと見てぇえっ♥
ケツ穴♥
クソ穴♥
イグッ♥
グリグリ♥
ビクン
ビュッ
ビュビュッ
ドボッ！
ドボッ！
ビクッビクッ
赤ちゃんできてるのに…ママになってるのにっ！私 露出チンポ奴隷を辞められないんですぅっ♥
夫のデカチンポでクソ汁垂れ流しチンポ穴にしてもらってたのぉっ♥
ブリブリって…汚い音くっさいニオイ…あぁあ…発情するぅっ♥

はぁぁ…見てぇ…っ♥
クソ穴精液ひり出す
ところ見て…♥
これが私たち夫婦の
ニオイなの…みんなも
発情してぇ…っ♥♥♥
テントの中に満ちる
精液とケツまんこの
淫臭――
観客はみんな精液
脱糞の淫猥さに
あてられて
気付けばその場で
自慰をしていた
チンポッ♥
チンポぉ♥
あーっ♥
あーっ♥
ビュクッ!
ビュクッ!
ブリュリュッ♥
当然私もキンタマを
丸出しにして母の
痴態に欲情し――
ブリュ♥
ブリュッ♥
あーっ♥
あーっ♥
ビュブッ♥
ビュブッ♥
ガクガク
あぁぁ！ もう…
私も我慢できない！
見てっ♥見てっ♥
射精見てぇえええっ♥
あ――っ！
あっ♥あっ♥
イク…イクッ♥
チンポイくうう
うう――っ♥♥♥
ぶるん
ぶるん
いや もう母だとは
思っていなかった
立派な一人の変態露出
メス便器として敬意を
抱いていた

あっ❤ぁあっ！
んぁあ…っ❤
ガクガク
私の射精に気づいた母――いや娼婦は笑みを浮かべ
私のチンポに顔を近づけた
はぁ　はぁあぁ…❤
チンポ…『お客様』のエロチンポぉ…❤
はっ♪
はっ♪
欲情に濁った顔のだらしなさは
まるで私の垂れさがるチンポ袋のようだった
アヘ♡
グチュッ♡
グチュッ♡
ブチュル♡
『母娘の会話をしたい』そんな想いはすっかり消え去り
ニオイだけで私たちは心を交わしていた
ビュッ！
んぼっっ❤
んぢゅるっ❤
んごっ❤
おげえっ❤
むしろ淫臭で語り合うことでしか分かり合えなかったのかもしれない
ブリュ♡
ブリュ♡
ビュッ！
ドブゥッ！
飲んで…っ❤
飲みなさい
この便女ブタっ❤
淫売口マンコでイクっ❤
イクぅッ❤❤❤
あ♪
ビク♡
ビク♡
ビク♡
こうして私は『娘』から一匹の『メス』へ成長し
王女から王妃になるための本当の覚悟を受け取った――
あーっ♪
あーっ♪

――自伝…ですか？
お義姉さまの？
小説ではなく？
ええ　でも小説家をやめるわけではなくて
今後は覆面作家ではなく実名で書きたいと思ったの
そのために　まず現在に至る私の半生を自伝として公開したい
母に捨てられたこともリコに改造されたこともすべての実体験を――
今まで書いてきた小説も事実に基づいた作品だけど
あくまで形としては『創作物』として世に出していたわ
でも将来　王妃として国政のかじ取りをする者として
私という人間がどれだけチンポ好きでだらしないキンタマ淫売メス奴隷なのか
国民に――いえ世界中にきっちりと示すことが使命だと思ったの

だけどね
そうなるとある程度は
周りの人も実名が
出てしまうの
特にリコ
あなたのことは
誤魔化し様がない
と思うし
仮に誤魔化せたと
しても貴女だけは
絶対に実名で
包み隠さず
すべての変態生活を
この手で書きあげたい
私のわがまま
許してくれる
かしら？

ぽぁ
あああ♥
それはもう♥
よろこんでっ♥

こうして出版された
本はまたたく間に
世間に広まっていった
温かな応援の手紙が
届くようになり
私たちと民衆の距離は
以前にも増して
近くなっていった
そんな中　徐々に
想定していなかった
事態も起こり始めた

国を治める王女が
変態小説家であることを
歓迎されただけでなく
ばーーん!!
おねえさまー
今日もこんなに
お手紙届いて
ますよっ！
今回もすんごい
変態チンポネタが
いっぱいですよ♪
次第に国民の
ほうから
『自分たちの体験談を
小説化して欲しい』
という願望が届き始めた

あら そんなにも
――
国民の皆さんとの
赤裸々な関係って
本当に嬉しいことね❤
でも さすがの私も
書いてる最中に
キンタマ空っぽに
なっちゃうわよ？
グリュッ
グリュッ
リコのため 自分のため
母のため――そんな
理由で書いていた頃が
懐かしく思えるほど
愛する民のために執筆する
チンポ小説家としての
生活はとても充実している
なんてね――
だけど安心して
どんなに大変でも
大丈夫

愛憎すら超えた
淫臭への想いを
物語に込めて――

奥付

発行：我流痴帯
著者：ＴＡＮＡ
2022/8/14発行

e-mail: garyuh@tana00.sakura.ne.jp
URL: http//tana00.sakura.ne.jp
twitter: @tana0111

印刷：しまや出版
未成年者の閲覧・購読ならびに
ＷＥＢへのアップロードを
禁じます